キャラクター名
戦場ベントラーク（いくさば・-）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	36 %
出自	名家の生まれ	経験	心の壁	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	6	0	0		2	8
精神	2	0	0			2
社会	0	0	1			1

HP	24
行動値	18
(非装備時)	18
戦闘移動	23
全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃	5		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
天空の隼	射撃	8r+5	-	7		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ベルベットクローク		1	-1	0	

合計装甲：	1	合計回避：	-1

所持品	
天空の隼	
ベルベットクローク	
エンブレム：学園帰り	
エンブレム：イレーストレース	
エンブレム：バディムーヴ	
エンブレム：†特異体	
メモリー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者	P	N		
玉野椿	P 信頼	N 憐憫		
ショコラトリー・オ・レ・オレオ	P 純愛	N 疎外感		
天野 はるか	P 尽力	N 嫌悪		
人形寺らすと	P 尊敬	N 悔悟		
有坂裕也	P 慕情	N 恐怖		
舞方穂乃果	P 親近感	N 劣等感		

最大財産P: 2	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
灰色の庭	3	2	ｾｯﾄ	視界	単体	自動	-	
効果：ﾗｳﾝﾄﾞ間対象の行動値-[Lvx3].								
陽炎の衣	3	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：ﾒｲﾝ終了まで隠密状態持続.ｼｰﾝLv回.								
光芒の疾走	3	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：戦闘移動.1ｼｰﾝLv回.離脱可.封鎖無効.								
コンセントレイト：エンジェルハイロゥ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：C値-Lv(下限7).								
見えざる死神	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果：隠密使用.ﾀﾞｲｽ+1.攻撃力+{Lvx3].								
レーザーファン	2	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	範囲選	対決	-	
効果：対象を範囲(選択)に変更.ｼﾅﾘｵLv回.								
マスヴィジョン	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	100	
効果：攻撃力+[Lvx5].ｼﾅﾘｵ3回.								
フラッシュゲイズ	3	3	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	80	
効果：ﾀﾞｲｽ-[Lvx2].ﾗｳﾝﾄﾞ1回.								
黒き明かり	3	3	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	ﾋﾟｭｱ	
効果：対象の達成値-5.ｼﾅﾘｵLv回.								
ヘヴンアイズ	1	4	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	80	
効果：対象の達成値+10.HP-5.ｼｰﾝ1回.								
真昼の星	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：望遠鏡のような視覚を得る								
七色の直感	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	-	
効果：対象の感情を読み取る								
効果：								

《『スクールトリップスクランブル』ハンドアウト》
ロイス：PC1
推奨感情 P：親近感／N：不安
カヴァー／ワークス：指定なし／UGN

キミは、N市支部のオーヴァードだ。
霧谷雄吾から連絡があり、これまでＦＨと戦ってきたPC1が狙われているという情報が入った。
ＦＨから放たれた刺客のコードネームは“ブラックローズ”。
ＰＣ①はＮ高の修学旅行に参加する。
その期間中、PC1を守り、無事Ｎ市に帰ってこられるようにするのが、キミの役目だ。

《基本情報》
PC1のクラスメイト
PC1に対する女の子の好感度を教えたり、恋愛のアドバイスをしてくれる。

《ライフパス》
神社の一人息子として生まれ、小さいころから他人が聞こえない声が聞こえたり、一人なのに誰かと遊んでいる素振りなどを見せていた。
小さな村の神社で信仰も篤かったため、初めは「神力が宿っている」「神様に愛されている」などと周りの人から持て囃されていた。
一方で彼を不気味がる人も多く、ある時期に異常気象で不作が続き、彼らがそれをこの子供による祟りだと言い始めたことで、
次第に村人たちだけではなく両親にまでも疎まれるようになってしまう。